

晴れの日を祝う、
新たな紅型のスタイル



お話を伺ったデザイナーの山内カナナさん

YOKANG
沖縄県那覇市古波蔵2-9-2
098-831-5674

外進出をきっかけに機械によるプリントラインもスタートさせるなど、柔軟な姿勢で、それぞれのラインにふさわしい染めを展開しています。
染めを通して着る人と作る人が互いに納得し幸せを共有できる服づくりがしたいという山内さん。これからも誇り高き染めを取り入れた服を沖縄から発信していきます。



明日の
夢づくり
沖縄の未来を担う
人づくり・モノづくりを紹介します。



写真の服は、ブランドを代表するエアブラシによる手染めの服。このほかにプリントラインはY'YOKANGと位置づけて分けています。今後は最新の機械を導入し、プリントラインを充実させながら、エアブラシによる手染めの技術もさらに高めていくことを目指しています。



(右上) 2015年香港ファッションウィークで行われたファッションショーのフィナーレの様子。
(左上) ロサンゼルスのお店内にディスプレイされた服。ロスでは派手な色より白や黒のベースにシャープな柄が好まれているそう。
(左) 沖縄のまぶしい太陽に映えるドレスは、リゾートウエディングでも人気。



ウエディングドレスは紅型染めを中心に個性あふれるドレスが揃っています。繊細で華やかなドレスが花嫁を祝福で包みます。

斬新な染めのスタイルのなかに息づく 色濃き沖縄の伝統文化

[YOKANG(ヨーカーン)]

柔軟な姿勢で染めに臨み、お客さまの選択の幅を広げる
琉球王朝時代には王族や士族しか着ることが許されなかった紅型。そんな高貴で美しい紅型のテイストを洋服に取り入れ、新たな染めの世界を追求しているのが服飾ブランドYOKANG(ヨーカーン)の山内カナナさんです。
このブランドは、山内さんとご主人の田仲洋さんが2000年に立ち上げたもので、紅型の型紙を使って一つひとつの柄をエアブラシで染めるといった新しい手法を服作りに取り入れました。「紅型はともて手間がかかりそれを洋服に施すと価格が高くなってしまいます。気軽に着て欲しいという思いがあったので、紅型にこだわるとは思いません。型紙を利用したエアブラシ染めという手法を生み出し、「染め」にこだわった商品展開を目指したいと思いました」と話す山内さん。さらに、紅型でもよく使われる鳳凰や花々、沖縄で今起こっている時事ネタなども染で表現し、華やかで個性的な服作りにつなげました。また、5年前にスタートさせたウエディングドレスラインでは晴れ舞台にふさわしいドレスを目指し伝統的な手法を用いた紅型をドレスに施す方法にも挑戦。さらに海

